

2019年9月12日

2019年度核データ研究会のお知らせ

日本原子力学会核データ部会、日本原子力学会「シグマ」特別専門委員会、日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター、日本原子力学会九州支部、加速器・ビーム応用科学センター共催の「2019年度核データ研究会」を下記の通り開催いたします。皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

日時 2019年11月28日(木)、29日(金)

開始時刻は、11/28の13:00～

30日(土)午前、加速器センター見学会を予定

場所 九州大学筑紫キャンパス C-Cube1F 筑紫ホール

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/chikushi>

本年度の研究会の依頼講演題目(仮)および講師(敬称略):

- 高速炉を活用したLLFP核変換システムの研究開発 [千葉 敏(東工大)]
- 長寿命MA核種の高速中性子捕獲反応データに関する研究 [片渕 竜也(東工大)]
- 最近の核データ関連トピックス(深堀 智生(JAEA))
- JENDLの現状(岩本 修(JAEA))
- IAEAにおける核データ活動(奥村 森(IAEA))
- NEAデータバンクの活動とそのサービスの現状について(須山 賢也(NEA))
- 韓国における核データ研究の現状(Y.O. Lee(KAERI))
- J-PARCの遮蔽・安全設計の経験(中島 宏(JAEA))
- IFMIFとA-FNS計画の現状と展望(落合 謙太郎(QST))
- RAOONの現状と核データ測定計画(M. Chung氏(UNIST))
- 最近の高温ガス炉における核データに関係したトピックス(深谷 裕司(JAEA))
- 高温ガス炉を用いたトリチウム製造(松浦 秀明(九大工))
- 超重元素合成実験(坂口 聡志(九大理))
- CDCC理論と多体分解反応への応用(松本 琢磨(九大理))
- J-PARCでの中性子基礎物理実験と小型中性子源(吉岡 瑞樹(九大理))
- チュートリアル「共鳴理論から統計モデルまで」(河野 俊彦(LANL))

実行委員会委員(順不同、敬称略)

渡辺幸信(委員長、九大)、大津秀暁(副委員長、理研)、佐波俊哉(KEK)、片渕竜也(東工大)、木村 敦(JAEA)、西尾勝久(JAEA)、千葉 豪(北大)、国枝 賢(JAEA)、北田孝典(阪大)、明午 伸一郎(JAEA)、湊 太志(JAEA)、千葉 敏(東工大)

現地委員会委員(順不同、敬称略)

渡辺幸信(九大総理工)、金 政浩(九大総理工)、川瀬頌一郎(九大総理工)、執行信寛(九大工)、米村祐次郎(九大工)、牧永綾乃(帝京大)